

1号機タービン建屋内滞留水の除去について

2017年3月30日

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1号機タービン建屋内滞留水の除去について

1

- 1号機タービン建屋内滞留水については、滞留水移送設備（追設）の使用前検査が終了したことから、2017年3月22日より追設ポンプによる水位低下を実施。（補足1参照）
- 3月23日に建屋最下階の床面レベル以下まで水位低下。
- 3月24日に現場目視確認にて、一部床面に若干湿った部分はあるものの、床面が露出した状態となっていることを確認。（補足2参照）
- 水位低下以降、これまでのところ追設ポンプにて安定的に排水ができ、床ドレンサンプ内で水位制御できていることを確認。（補足3参照）



以上より、1号機タービン建屋最下階エリアの滞留水について除去できたと判断。

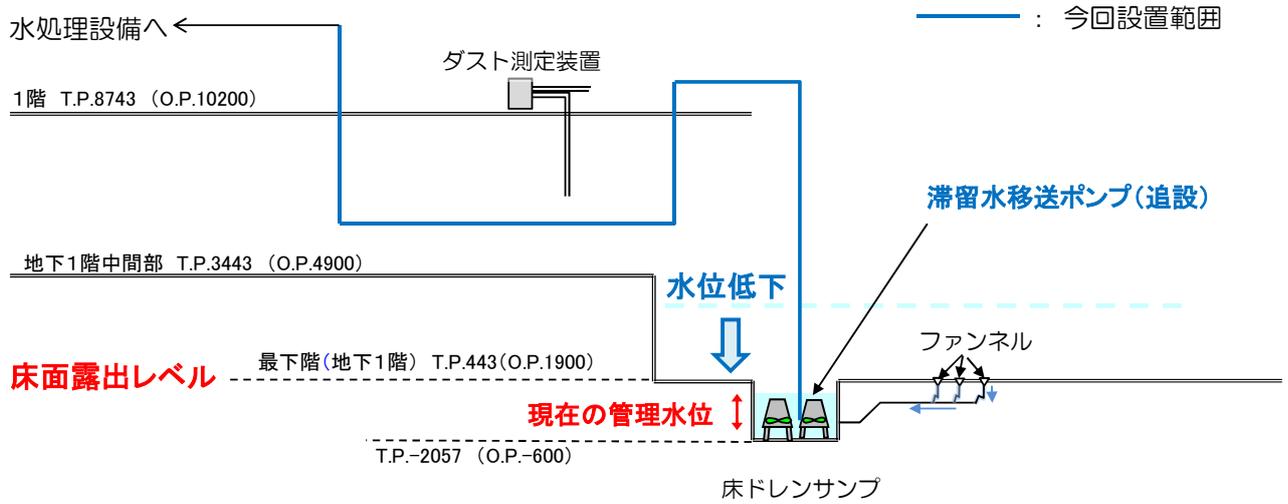
- ※当該エリアのダスト濃度については、 10^{-8} ~ 10^{-5} Bq/cm³程度でほぼ安定的に推移し上昇傾向は確認されていない（作業期間中のダスト抑制対策実施判断目安は 10^{-3} Bq/cm³）。
- ※水位低下以降も地下水と雨水の流入が継続することから、今後も床ドレンサンプ内に集水される“地下水”と“雨水”を継続的に排水する。
- ※一部残水が確認されているエリアについては適宜排水していく。また、未調査の孤立エリアについても準備が整い次第、調査および必要に応じて水抜きを行っていく。（補足4参照）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

【補足1】今回追設した1号機タービン建屋内滞留水移送設備²



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

【補足2】1号機タービン建屋地下1階エリア確認状況

3

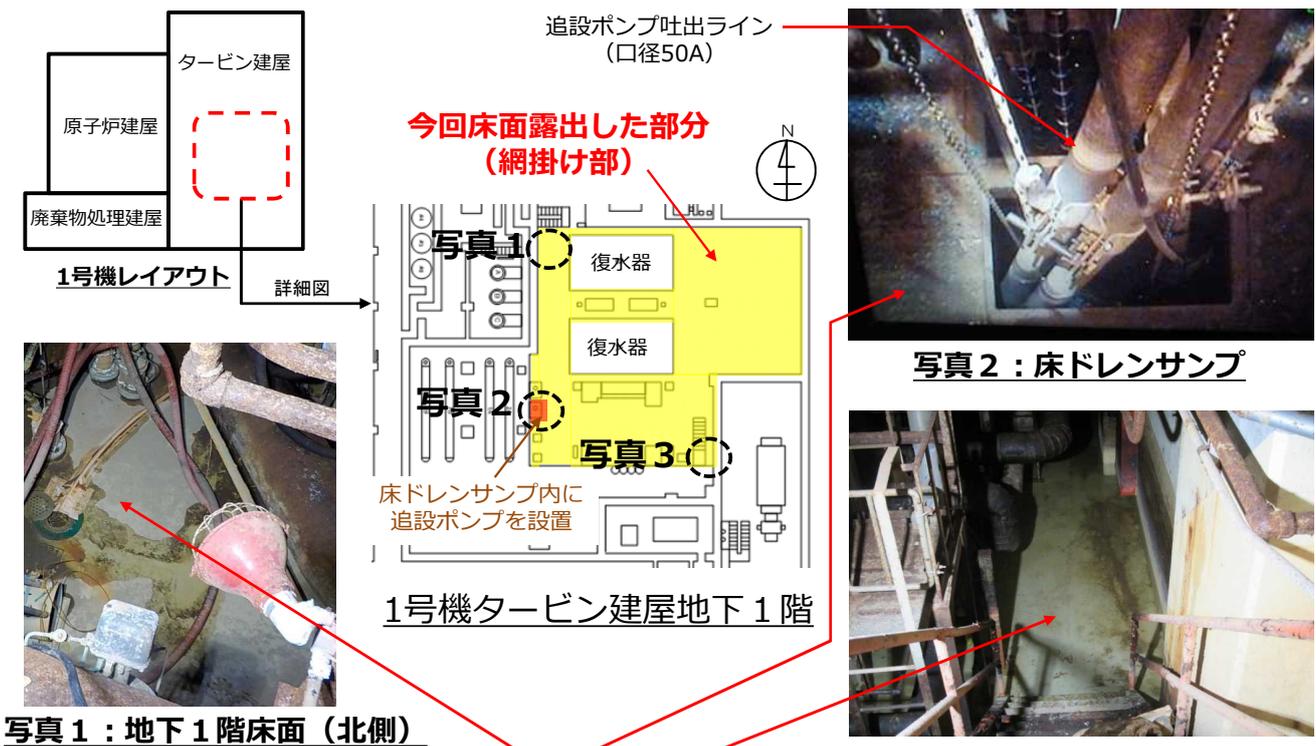


写真1：地下1階床面（北側）

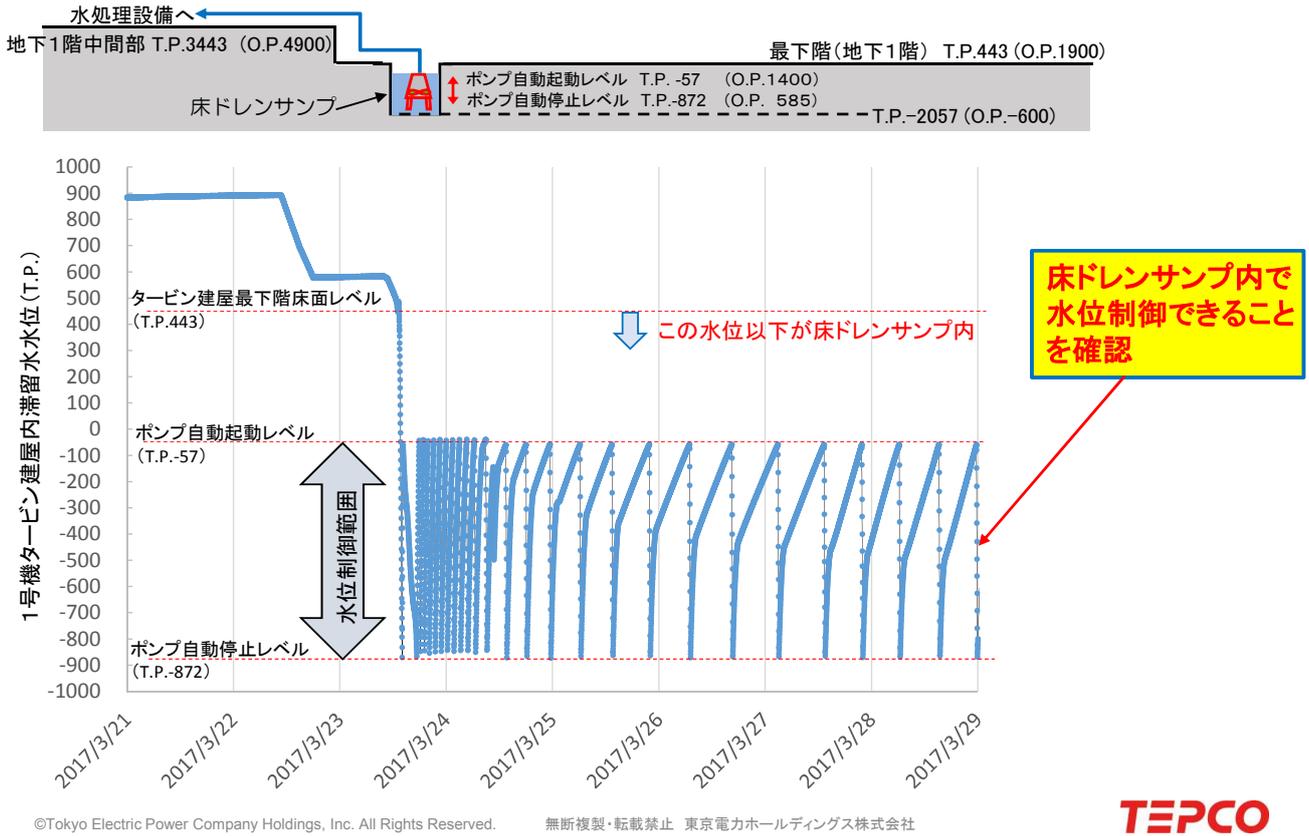
床面が露出した状態となっていることを確認

写真3：地下1階床面（南側）

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO



【補足4】 1号機タービン建屋の残水状況

- 今後、一部残水が確認されているエリア (①~④) についても適宜排水する。なお、当該エリアは他のタービン建屋エリアとは区画され、床ファンネル等を介した連通のないことを確認している。
- また、未調査の孤立エリア (⑤~⑦) についても滞留水が残存している可能性があることから、調査および必要に応じて水抜きを行っていく。

●・・・ポンプ設置箇所 ●・・・水位計設置箇所

■：区画の境界線

■：一部残水が確認されているエリア

②③は過去に床面露出させた実績あり。以降地下水等の流入状況により適宜水抜き管理中。

No.	水抜き箇所
①	復水器
②	ハウスボイラー室
③	非常用ディーゼル発電機室
④	復水ポンプ配管トレンチ

■：未調査の孤立エリアで滞留水が残存している可能性のあるエリア (孤立していて建屋外への影響はないと想定される)

No.	調査および水抜き箇所
⑤	復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室
⑥	電気マンホール
⑦	主油タンク室

